

朝日生命 全国の子どもがいない既婚女性 1,000 名へのアンケート調査を実施

子どもが欲しい平均年齢は 36.2 歳、40 代以降も前向き

母親になると「自分」から「子ども」へ意識がシフト

「憧れる母子像」の有名人 1位は松田聖子・神田沙也加 親子

朝日生命保険相互会社(社長:佐藤美樹、以下「朝日生命」)は、全国の子どもがいない既婚の女性(以下「母親予備軍」)、1,000名を対象に、子育てに関するアンケート調査(2011年6月25日~27日)を実施しました。この結果と、全国の0歳~12歳の子どもを持つ働く母親1,000名を対象に行った調査(※)(2011年5月16日~18日)結果を比較しました。その結果、女性は母親になると、何事においても「自分」中心から「子ども」中心へと意識が大きく変化することが分かりました。また、子どもが欲しい平均年齢は36.2歳、40代以降も出産に前向きな、今日の母親予備軍の実態が明らかになりました。そして、女性が「憧れる母子像」の有名人1位は松田聖子・神田沙也加親子で、互いを思い、尊敬しあう関係性に共感が集まりました。

※「全国の0歳~12歳の子どもを持つ働く母親1,000名へのアンケート調査」は、6月9日に既にリリースしています。

アンケート調査の主な結果

1. 母親予備軍のライフプラン

- 子どもが欲しい平均年齢は 36.2 歳、40 代以降も前向き
- 子どもが生まれても働き続けたい 76.0%

2. パートナーに対する条件

- 結婚相手を選ぶ際、「一緒に家事、子育てしてくれる人」重視と約半数が回答
働く女性ほど重視する傾向に
- 理想の子育てをするための条件 「夫と一緒に子育て・家事をしてくれる」が最多の 51.9%

3. 出産前後の意識変化

- 子育てにおける不安 母親になってわかる「自分がもしもの時の子どもや家族」
- 働き続ける動機 母親になると「自分」のためから「子ども・家族」のためへとシフト
- 家族を大切に思う割合 出産後は対「夫」が半減(17%)、対「子ども」が50%近くまで占める

4. 理想の母親像、母子像

- 働く女性にとっての理想の母親像 「仕事と子育てを両立している」55.1%
- 憧れる母子像の有名人 1位は松田聖子、2位は仁科亜希子、3位は大竹しのぶ

※「母親予備軍」調査対象者

年代:20代から40代(20代、30代、40代と年代10歳刻みに人口構成比で割り付け)

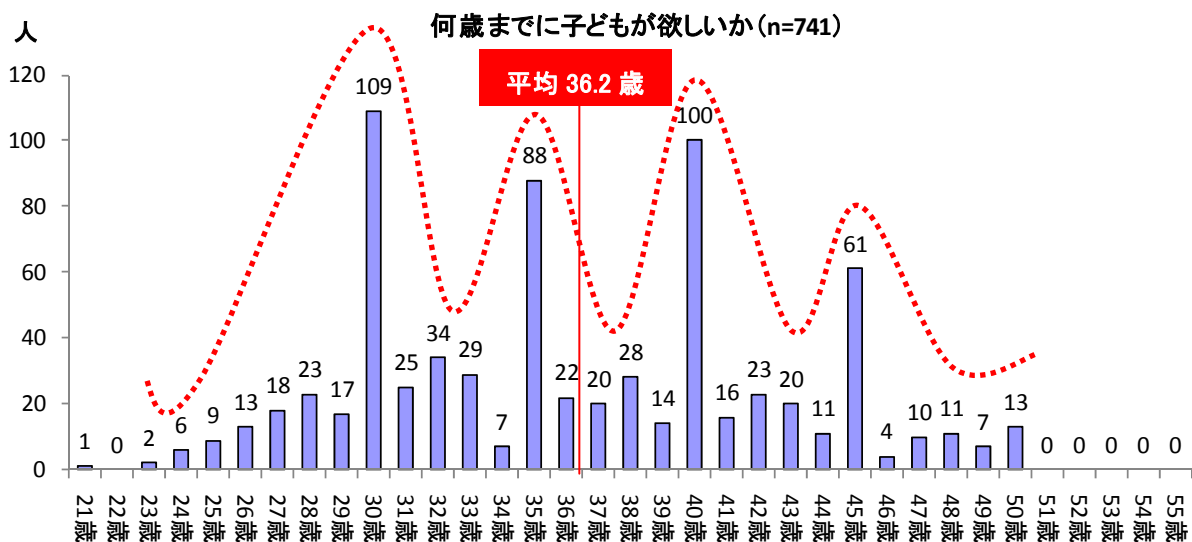
地域:全国(被災地除く) 性別:女性 条件:既婚、子ども無し 計1,000人

母親予備軍のライフプラン

●子どもが欲しい平均年齢は36.2歳、40代以降も前向き

Q. あなたは、何歳までに子どもが欲しいと思いますか？

- ・子どもが欲しい平均年齢は36.2歳、となりました。
- ・30歳、35歳、40歳、45歳と5歳刻みの節目に集中して分布していることが分かりました。
- ・40代以降も出産に前向きな、今日の女性の出産観が明らかとなりました。



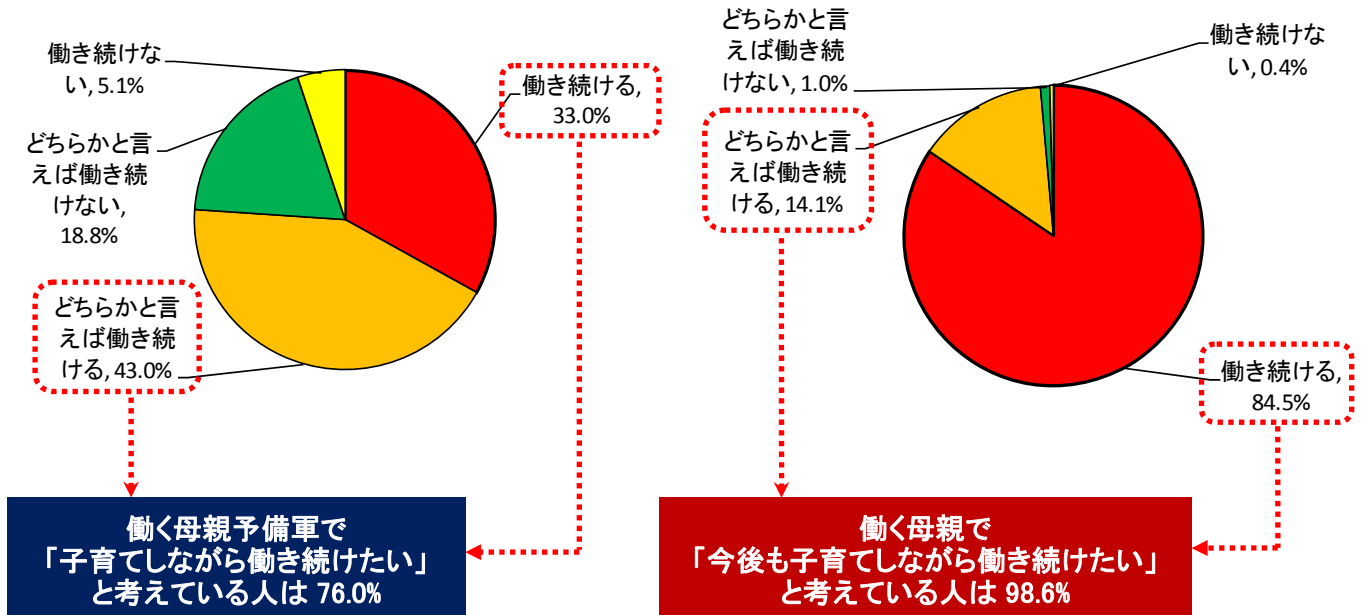
●子どもが生まれても働き続けたい 76.0%

Q. あなたは、子どもが生まれても、働き続けたいですか？

- ・母親予備軍の約8割(76.0%)が、子どもができてからも働き続けると回答。仕事と子育ての両方を実現したいと考えている事が分かります。一方、実際に子どもを持ち働いている母親の殆どが今後も仕事を継続したいと考えており、その両立を支援する環境の確保が一層求められてくる事が考えられます。

子どもが生まれても働き続けたいか
(有職者、パート・アルバイト含む、単一回答、n=351)

今後も子育てしながら働き続けたいか
(働く母親、n=1,000)



2. パートナーに対する条件

●結婚相手を選ぶ際、「一緒に家事、子育てしてくれる人」重視と約半数が回答 働く女性ほど重視する傾向に

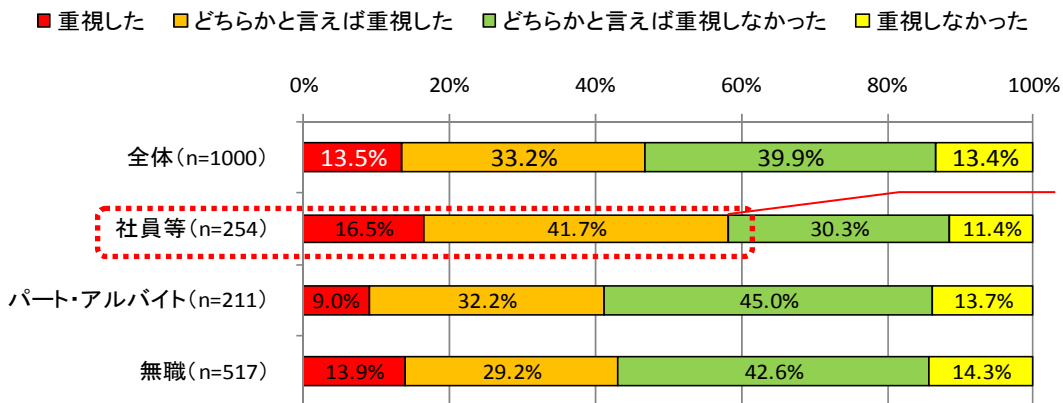
Q. あなたは結婚相手を選ぶ際に、「一緒に家事をしてくれる人」「一緒に子育てしてくれる人」を重視しましたか？

- ・約半数の女性が、「家事、子育てに協力的」というポイントを結婚の際に重視しており、働いている社員の女性ほどその傾向が顕著であるということが明らかとなりました。

※全体内訳：社員等（254名）、パート・アルバイト（211名）、無職（517名）、その他（18名）

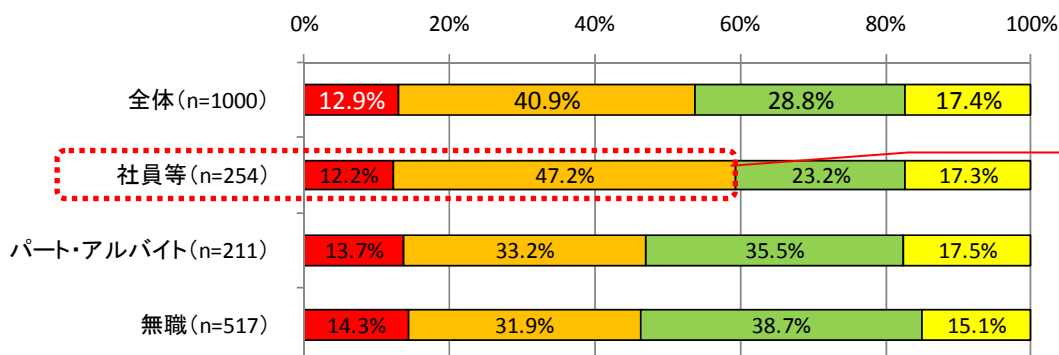
※社員等には、経営者、自営業、会社員、契約社員、派遣社員、公務員・団体職員を含む。

結婚相手を選ぶ際に「一緒に家事をしてくれる人」を重視したか(単一回答)



結婚相手を選ぶ際に「一緒に子育てしてくれる人」を重視したか(単一回答)

■ 重視した ■ どちらかと言えば重視した ■ どちらかと言えば重視しなかった ■ 重視しなかった



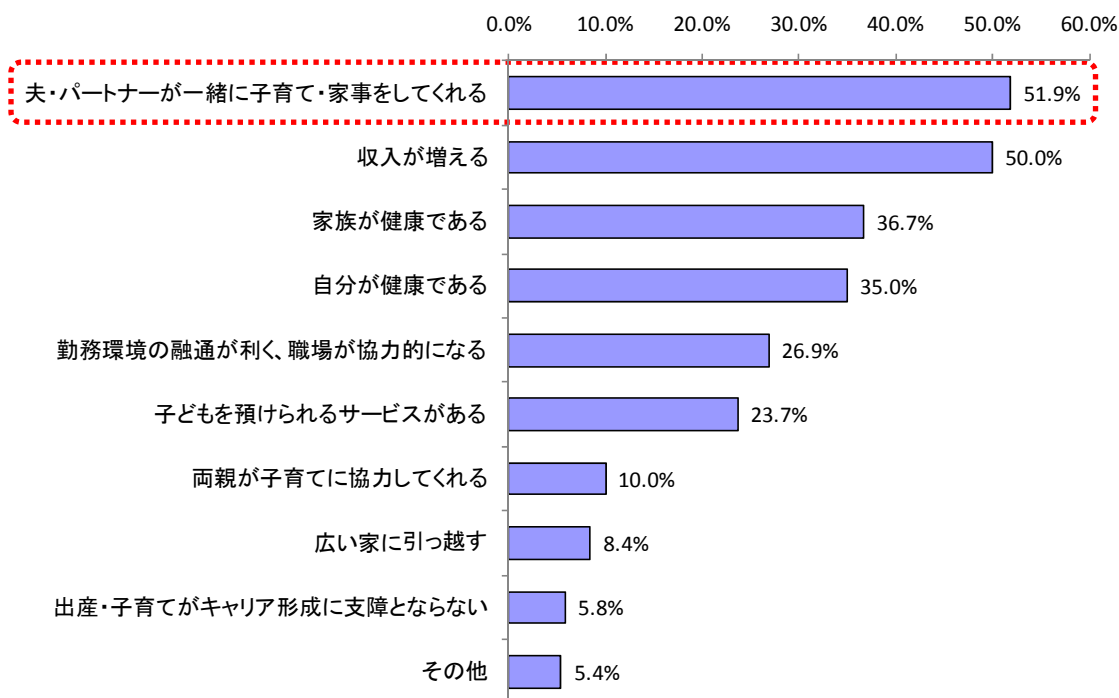
社員等で「一緒に子育てしてくれる人を重視した」人は59.4%

●理想の子育てをするための条件 「夫と一緒に子育て・家事をしてくれる」が最多の51.9%

Q. あなたにとって、理想の子育てができる状態とはどのようなものですか？

- ・「夫・パートナーと一緒に子育て・家事をしてくれる」が51.9%と最多となりました。
- ・出産後も働き続ける女性が多い今日、パートナーに子育てや家事を一緒に担ってもらうことで、乗り越えようとする女性の考えが表れていると考えられます。
- ・昨今は「イクメン」ブームをうけて、積極的に育児に参加する男性も増えてきたため、従来よりも夫に子育てや家事を期待しやすくなっていることも、この回答が多くなった要因として考えられます。

理想の子育てができる状態(3つまで回答、社員等、n=254)

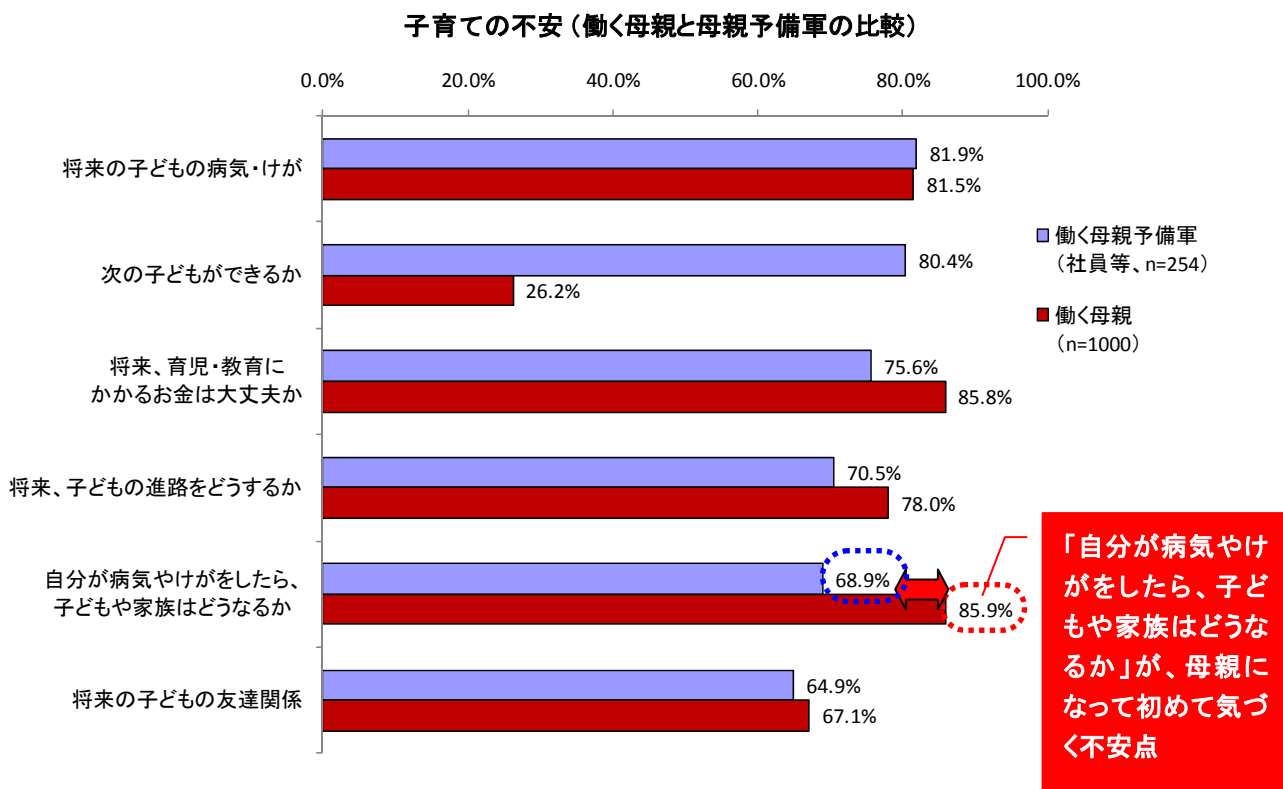


3. 出産前後の意識変化

●子育てにおける不安 母親になってわかる「自分がもしもの時の子どもや家族」

Q. あなたが将来子育てをしながら生活するようになったら、次について不安になると思いますか？

- ・「働く母親予備軍」から「働く母親」になる中で子育てに関して不安の伸びが一番大きいのは、「自分が病気やけがをしたら、子どもや家族はどうなるか」(+17.0ポイント)であることが分かりました。母親になってはじめて気づく不安点であるということが顕在化しました。

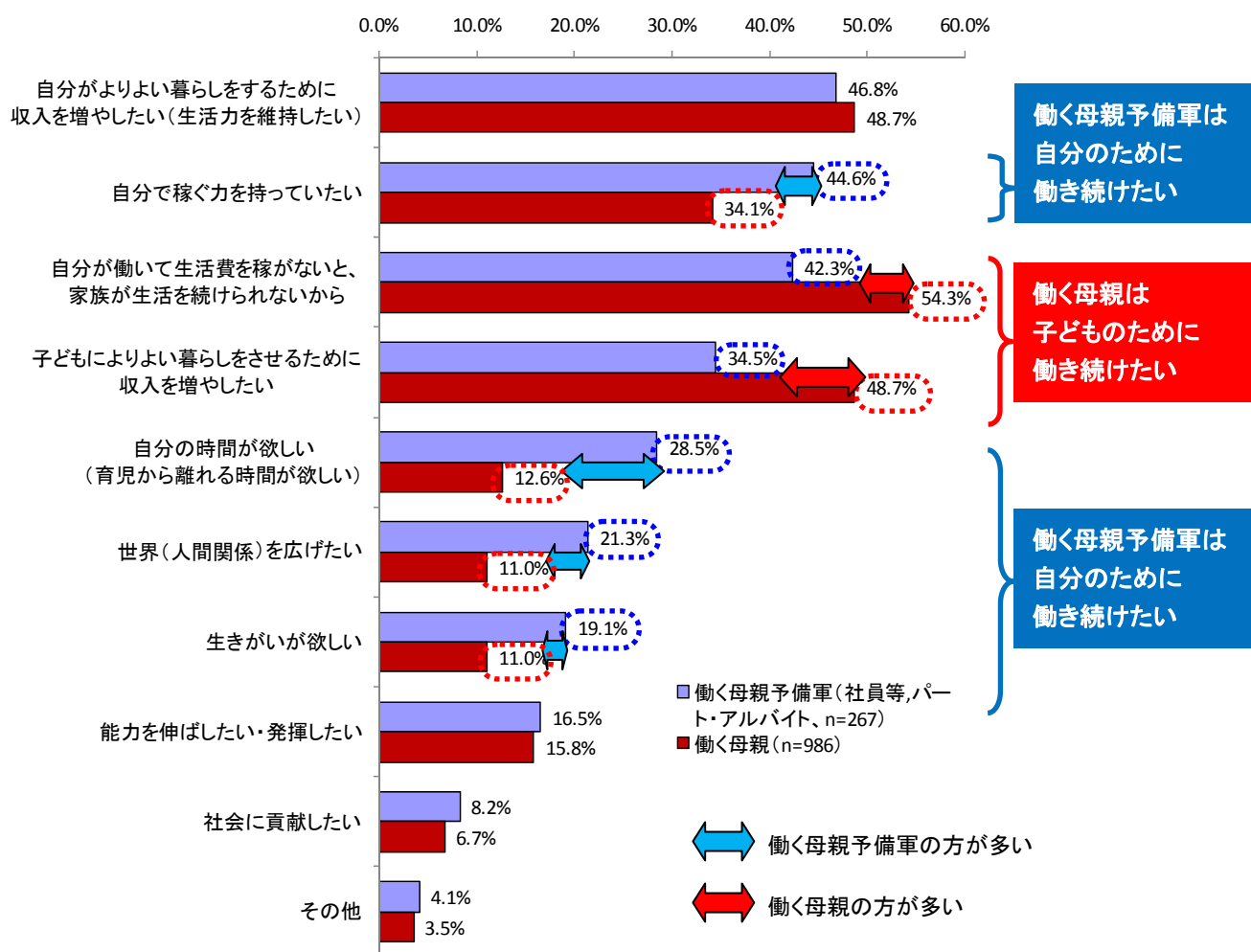


●働き続ける動機 母親になると「自分」のためから「子ども・家族」のためへとシフト

Q. あなたが子育てしながら仕事を続けたいと思う、主な理由は何ですか？

- ・母親予備軍は「働く母親」に比べて「自分」に関する動機が多い結果となりました。
 - 「自分で稼ぐ力を持っていたい」(10.5ポイント多い)
 - 「自分の時間が欲しい」(15.9ポイント多い)
 - 「世界(人間関係)を広げたい」(10.3ポイント多い)
- ・「働く母親」は母親予備軍に比べて「子ども・家族」に関する動機が目立つ結果となりました。
 - 「自分が働いて生活費を稼がないと、家族が生活を続けられないから」(12.0ポイント多い)
 - 「子どもによりよい暮らしをさせるために収入を増やしたい」(14.2ポイント多い)
- ・この結果から、子どもが生まれることによって、女性の働き続ける動機が「自分」のためから「子ども・家族」のためへとシフトすることが分かります。

子育てしながら仕事を続けたい理由(3つまで回答)

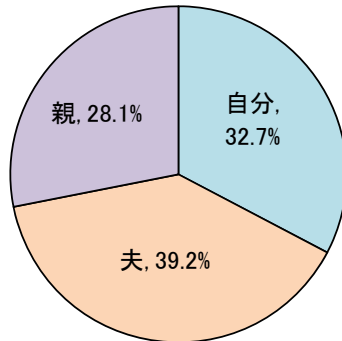


●家族を大切に思う割合 出産後は対「夫」が半減(17%)、対「子ども」は50%近くまで占める

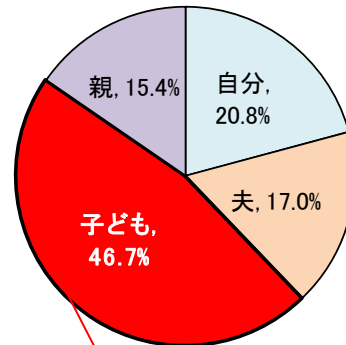
Q. 自分・夫・親を「大切に思う」比率はどうなりますか？

- ・働く母親では、子どもが46.7%を占め、子どもの大切さは、夫や親の約3倍となり、女性の子どもの思う気持ちの大きさが明らかとなりました。
- ・母親予備軍から母親になると、大切に思う比率は「夫」に対する思いが半減しており、その一番の要因は「子ども」の存在の大きさにあると言えます。女性の中での「大切に思う」存在の対象に大きな変化が起きることが明らかとなりました。

母親予備軍
自分・夫・親を「大切に思う」比率
(n=1000)



働く母親:
自分・夫・子ども・親を「大切に思う」比率
(n=1000)



母親は子どもの割合が
約50%を占める

4. 理想の母親像、母子像

●働く女性にとっての理想の母親像 「仕事と子育てを両立している」55.1%

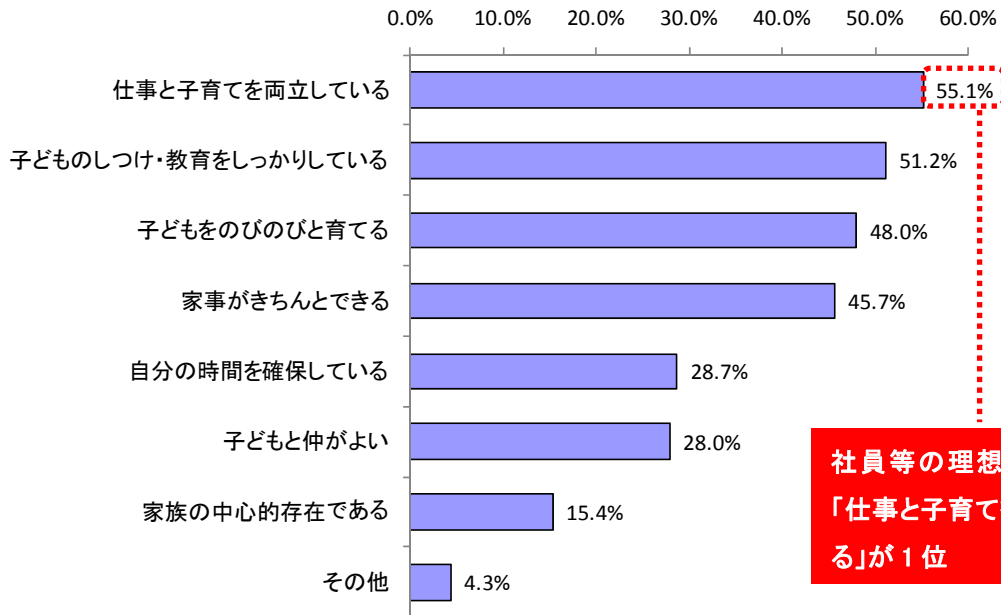
Q. あなたにとって、理想の母親とはどのような母親ですか？

・働く女性にとっての理想は、

- 1 番目は「仕事と子育てを両立している」55.1%
- 2 番目は「子どものしつけ・教育をしっかりしている」51.2%
- 3 番目は「子どもをのびのびと育てる」48.0%。

・現代の働く女性にとって、仕事と子育てを両立している母親こそが理想の対象であるということが明らかになりました。

理想の母親像(3つまで回答、社員等、n=254)



社員等の理想の母親像は「仕事と子育てを両立している」が1位

●憧れる母子像の有名人 1位は松田聖子さん、2位は仁科亜希子さん、3位は大竹しのぶさん

Q. 有名人（芸能人、作家、スポーツ選手、政治家など）の中で、あなたが憧れる母子像（母と子ども）としてイメージする人は誰ですか？

- ・上位にランクインした方に共通するのは、仲がよく、お互いが認め合い、思いやり、尊敬し合っているという母子の絆に共感した意見が多く見られました。

※下記敬称略

ランキング上位10組 (n=1,000)

1位	松田聖子/神田沙也加	174票
2位	仁科亜希子/仁科仁美	52票
3位	大竹しのぶ/IMARU	51票
4位	北斗晶/息子	27票
5位	森山良子/森山直太郎	18票

6位	岡江久美子/大和田美帆	17票
6位	山口百恵/ユウ・三浦貴大	17票
8位	松嶋菜々子/娘	16票
9位	富司純子/寺島しのぶ	15票
10位	江角マキコ/娘・息子	14票
10位	黒木瞳/娘	14票

理由

1位 松田聖子 /神田沙也加 (174票)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の信じる道を生きているが子どもも理解し、仲がよさそう。 ・母親としてもしっかり仕事しつつ子どもとも接しており、子どもも母親を尊敬しているから。 ・どちらも可愛くて、生き生きして友達親子のようでいい。 ・母と子どもがそれぞれ独立してしっかりと仕事をしているイメージがある。 ・母親の姿に憧れて同じ職業に就いたのかな…。子どもから憧れられる母親はすてきだと思う。 ・お互いを認め合い、信頼しあっている感じがするから。 ・娘が母親を目標にしている。
2位 仁科亜季子 /仁科仁美 (52票)	<ul style="list-style-type: none"> ・CMで見たが、とても親子の絆が深いように思えた。 ・子どもときちんと会話できているイメージがあるから。 ・なんでも話せるくらい仲が良さそうだから。 ・仲が良さそう。友達のような親子でなんでも相談していそう。
3位 大竹しのぶ /IMARU (51票)	<ul style="list-style-type: none"> ・信念を持って生きている母の姿を娘がよく見ていそう。 ・仲も良さそうだし、自然な感じがするから。 ・親離れ子離れが出来ていそう。お互いを尊重できているような気がする。 ・大竹さんと IMALU さんを見ていると二人とも自分をしっかりもっていらっしやってお互いを大切に思っている雰囲気がなんとなく感じられました。
4位 北斗晶 /息子 (27票)	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しいけど、子どもを一番に考えて、子どももきちんと理解しあえているところ。 ・仕事は仕事できっちりし、家では家庭的な母で子どもも母親を慕っている雰囲気があるから。 ・すごく素敵なお母さんだし、子どもと旦那様を大事にしている理想です。 ・いつも楽しそうで愛情があふれているのが他人からでもわかるから。
5位 森山良子 /直太郎 (18票)	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを認め合っている感じがするから。 ・息子の才能を伸ばす。 ・子どもを自由に育てていても、きちんと親の背中をみせている気がするから。

<<番外編>>

・母と子どもの組み合わせのうち、理想とする「子ども」の視点からの意見も多数ありました。

第13位 関根麻里と母(9票)・・・雰囲気がいい/楽しそうで娘さんがのびのびと育てている/理想の娘

第25位 芦田愛菜と母(5票)・・・かわいく賢く性格の良い子に育てられているので

第31位 ベッキーと母(3票)・・・明るく元気な子に育てている

同31位 スザンヌと母(3票)・・・娘たちと仲が良く理想的

■調査概要

- ・調査名：母親予備軍に対するアンケート調査
- ・調査実施主体：朝日生命保険相互会社
- ・調査手法：インターネット調査(株式会社 クロス・マーケティングのモニター使用)
- ・調査実施日：2011年6月25日(土)～6月27日(月)
- ・調査対象者 年代：20代から40代(20代、30代、40代と年代10歳刻みに人口構成比で割り付け)
 地域：全国(被災地除く) 性別：女性 条件：既婚、子ども無し 計1,000人

■比較対象の調査概要

- ・調査名：働く母親に対するアンケート調査
- ・調査実施主体：朝日生命保険相互会社
- ・調査手法：インターネット調査(株式会社 クロス・マーケティングのモニター使用)
- ・調査実施日：2011年5月16日(月)～5月18日(水)
- ・調査対象者 年代：20代から40代 性別：女性
 職業：自営業・経営者・会社員・契約社員・派遣社員・公務員・団体職員
 地域：全国(岩手県、宮城県、福島県、青森県、茨城県のそれぞれ一部を除く)
 条件：0歳から12歳までの子どもがいる
 スクリーニング条件：末子年齢が0歳～5歳 500名、末子年齢が6歳～12歳 500名

【用語】

- ・n(回答者数)

※データのご利用について・・・報道目的の利用は自由ですが、必ず「朝日生命調べ」と調査主体名を明記してください。